世界の９人に１人！　北朝鮮は人口半数近くが栄養不足

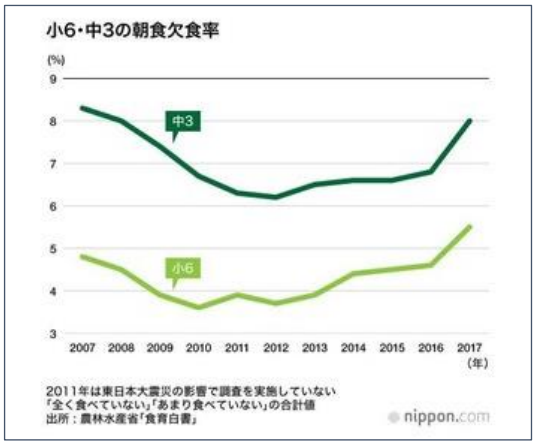
国連食糧農業機関（ＦＡＯ）は 15 日、2018 年に世界の人口の 9 人に 1 人にあたる 8 億 2000 万人が栄養不足に陥っているとの報告書を発表した。北朝鮮では人口の半数近くが栄養不足で、北朝鮮の食糧事情が悪化している状況が浮き彫りとなった。

報告書によると、世界の栄養不足人口比率は、2004～2006 年の 14・4%から、2016～2018 年は 10・7%に減少し、改善がみられた。一方、北朝鮮では、2004～2006 年の 35・4%から 2016～2018 年は 47・8%と大幅に増加しており、1,220 万人が栄養不足に陥っているという。

国連が今年 3 月に公表した報告書でも、北朝鮮の 18 年の食糧生産量が自然災害などによって過去 10 年で最低水準まで落ち込み、特に農村部で食糧不足が深刻になっていることが指摘されている。

7/16「読売新聞」ニューヨーク（村山誠）

朝食抜く若者 27%　小・中学生も増加傾向



農林水産省が公表した 2018 年度版の食育白書によると、20～30 代の若い世代で朝食を「ほとんど食べない」と答えたのは 17.9%で、前年度より 3.1 ポイント増えた。「週に 2～3 日しか食べない人」も 9.0%おり、合わせて 3 割近くが朝食を抜きがちで、パワー不足のまま 1 日をスタートしていることになる。

小学 6 年でも「全く食べない」「あまり食べない」が合計 5.5%、中学 3 年で 8.0%に達し、それぞれ前年度より 0.9 ポイント、1.2 ポイント増えた。

子どもの朝食欠食は近年、増加傾向にある。過去の調査によると、朝食を食べない理由は小学生、中学生とも「食べる時間がない」「食欲がない」がそれぞれ約 4 割。また、就寝時間が不規則なほど朝食を食べない傾向がある。

農水省では「子どものうちに健全な食生活を確立することは、健全な心身を培い、豊かな人間性を育む基礎。朝食を毎日食べることは、基本的な生活習慣を身に付ける観点から非常に重要」と指摘している。

6/12「nippon.com 」